

エンジン始動 試験装置



特徴

本、「エンジン始動試験装置」を使用する事により、自動車用エンジンの始動試験をエンジン専用コンピュータを用いずに、各種センサ入力データに基づき、点火制御、燃料噴射制御、高圧燃料ポンプ制御、電子スロットルバルブ制御などを行いエンジン単体での始動試験を行うことが可能となります。

対応エンジン

- ・ガソリンエンジン（ロータリエンジン含む）
※電子スロットル対応
- ・ディーゼルエンジン
※コモンレールエンジン対応
※高圧ピエゾ素子型インジェクタ対応
（最大 200V 騒動に対応）
- ・ハイブリットエンジン
※外部インバータにスタート信号出力可能

対応気筒数： 最大 12 気筒まで対応

2 次点火出力の場合は最大 8 気筒
（内臓のイグニッションコイル）
1 次点火出力の場合は最大 12 気筒
（外部のイグニッションコイル）

各種高圧燃料ポンプ制御

エンジンに付属する各種燃料系のポンプ制御

入力信号系

クランク角度検出センサ、水温センサ、吸気温センサ、排気温センサ、吸入空気量センサ、油圧センサ、O2 センサ、A/F センサなど

出力信号系

イグニッション制御、インジェクタ制御、各燃料ポンプ制御、電子スロットル制御など

クランク角検出

光ファイバセンサによりエンジンクランク角度 7.5 度単位で検出（内部的にさらに細分化して約 1 度単位で制御可能）

GUI インタフェイス

Windows7 Gui インタフェイス（タッチパネルディスプレイ）エンジンの各種パラメータを設定

（燃料増量補正パラメータ、進角量パラメータなど）

各センサ類から入力される各種データのモニタ

（水温センサ、油圧センサ、A/F センサなど）

専用の圧力センサを取り付けることにより
各気筒の圧縮圧力を計測表示する事も可能